



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

キリンホールディングス株式会社

ソーシャルボンド(第 21 回無担保社債)

資金充当先変更後レビュー

よろこびがつなぐ世界へ



Document title: キリンホールディングス株式会社 ソーシャルボンド(第 21 回無担保社債) 資金充当先変更後レビュー

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸、日本

Date: 31 Aug 2026

Identification (Report Nr.): PRJN-340461-2022-AST-JPN-03

発行履歴

発行日	主な変更内容
2023 年 6 月 23 日	ソーシャルボンド(第 21 回無担保社債)債券発行後 定期レビュー (キリンホールディングス株式会社第 21 回無担保社債(社債間限定同順位特約付))
2026 年 8 月 31 日	ソーシャルボンド(第 21 回無担保社債)の資金充当先変更後レビュー 中止されたソーシャルプロジェクト： 「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資・運営・原材料の調達」 (中止理由：同事業の譲渡) 資金充当先変更後プロジェクト： 「プラズマ乳酸菌の研究開発及びプラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資・運営・ 原材料の調達」 「Blackmores Limited の株式取得」

Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by the client to us as part of our review procedures are provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not be detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17029:2019 - Conformity Assessment – General principles and requirements for validation and verification bodies, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements.

スコープと目的

キリンホールディングス株式会社(以下、キリンホールディングス)は、2022年3月に策定した「キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク」に基づき、2022年6月7日にキリンホールディングス株式会社第21回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(ソーシャルボンド)(以下、ソーシャルボンド)を発行しています。本発行により調達した資金(200億円)は、2023年レポートの通り、ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資・運営・原材料の調達(以下、ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資)、シチコリン製造に資する設備投資・運営・原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発及びプラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資・運営・原材料の調達に充当していました。

キリンホールディングスは、同社グループ会社である協和発酵バイオの amino 酸及びヒトミルクオリゴ糖事業を中国の大手バイオ産業会社である Meihua Holdings Group Co., Ltd.の子会社である特定目的会社に譲渡(以下、本事業譲渡)することを合意し、2024年11月22日に本事業譲渡に関する契約を締結したことを公表しています。

本事業譲渡に伴い中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額について、資金充当先を変更することを2025年2月14日に公表しています。

上述の経緯より、キリンホールディングスは、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(以下、DNV)に資金充当先変更後レビューの実施を委託しています。DNV における本レビューの目的は、キリンホールディングスが実施した資金使途(資金充当先)変更に関して、後述する基準であるソーシャルボンド原則(以下、SBP)及びソーシャルボンドガイドライン(以下、SBGL)に合致していることを確認するための評価を実施し、このソーシャルボンドの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額は73億円です。DNV は、SBP 及び SBGL に基き、資金充当先変更後レビューを実施しました。この報告書ではソーシャルボンドの要求事項(後述する要素-1～要素-4)に対するレビューを行います。

DNV は、独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、キリンホールディングスとは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

この報告書では、ソーシャルボンドの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の社会的便益に関する保証も提供されません。

適用又は参照される基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル
1.	ソーシャルボンド原則 (SBP)	国際資本市場協会 (ICMA)、2021	適用
2.	ソーシャルボンドガイドライン (SBGL)	金融庁、2021	適用

適用：各ハンドブック、原則やガイドラインに共通する4要素すべてに対する適格性を評価した

キリンホールディングス及び DNV の責任

キリンホールディングスの管理者は、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しました。DNV のステートメントは、独立した意見を表明するものであり、DNV に提供された情報を基礎として、その確立された基準が満たされているか否かについてキリンホールディングス及びこの債券に関わるその他の利害関係者に情報提供する事が、意図されています。DNV はそのレビューの中で、キリンホールディングスによって提供された情報および事実を根拠としています。DNV はこの意見表明によって参照される選定されたソーシャルプロジェクト資産の、いかなる側面においても責任を負う立場ではありません。従って DNV はキリンホールディングスの管理者から提供され、今回のレビューの基礎として使用された情報またはデータのいずれかが正確でなかった、または完全でなかった場合にその責任を負いません。

DNV の意見の基礎

DNV は、キリンホールディングスに特有のソーシャルボンド適格性評価手順（以下、「手順」）を適用するために、SBP 及び SBGL の要求事項を考慮したキリンホールディングスソーシャルボンド評価手順を作成しました。この手順は SBP 及び SBGL に基づく債券に適用可能です。DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、ソーシャルボンドは「社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」べきであるというものです。DNV は、ソーシャルファイナンスの運用・管理に関連する項目として以下の 4 つの要素を適用して定期レビューを実施しました。

資金使途を特定する資金調達（SBP、SBGL）

要素1. 調達資金の使途

調達資金の使途の基準は、ソーシャルボンドの発行者が適格性を有するソーシャルボンドにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な社会的便益を提供するものです。

要素2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス

プロジェクトの評価及び選定の基準は、ソーシャルボンドの発行者が、ソーシャルボンド調達資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。

要素3. 調達資金の管理

調達資金の管理の基準は、ソーシャルボンドの資金調達者組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。

要素4. レポーティング

レポーティングの基準は、債券及びローンへの投資家及び貸し手に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

評価作業

DNV の評価作業は、キリンホールディングスによって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

初回(ソーシャルボンド発行前)アセスメント * 本報告書には含まれません

- この債券に関してキリンホールディングスより提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照します。
- キリンホールディングスとの協議及び、関連する文書管理のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成。

資金充当先変更後レビュー * 本報告書の内容

- ソーシャルボンド発行に関連したキリンホールディングスにより提供された根拠書類、上位レベルのデスクトップ調査、文書レビュー、及びキリンホールディングスの主要担当者へのインタビューで補足された根拠書類の評価。これらのチェックは、現在の評価ベストプラクティスと標準方法論を参照します。
- キリンホールディングスの管理者との協議、および関連文書管理のレビュー。
- 現地調査および検査(必要な場合)。
- 資金充当先変更後評価時点での、対象プロジェクト及び資産のレビュー。
- 本書で詳述されている、資金充当先変更後評価の観察結果の文書作成。

DNV の意見

DNV の監察結果の概要は以下の通りです。詳細はスケジュール-1 以降です。

UoP : 資金使途を特定する資金調達 (SBP、SBGL) に共通する4つの要素

UoP-1. 調達資金の使途

- DNV は、2024 年 11 月の事業譲渡に伴い中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額ならびに、資金充当先変更後のソーシャルプロジェクト及びその充当額について確認しました。
- 中止されたソーシャルプロジェクトならびに資金充当先変更後のソーシャルプロジェクトを表-1,2 に示します。DNV は、中止されたソーシャルプロジェクトへ充当された金額相当額が、表-2 に示すソーシャルプロジェクトへ全額充当されたことを確認しました。

表-1 中止されたソーシャルプロジェクト(詳細はスケジュール-1 を参照してください)

ソーシャルプロジェクト分類	ソーシャルプロジェクト		充当時期	充当額
	ソーシャルプロジェクト概要	対象者		
必要不可欠なサービスへのアクセス(健康・健康管理)	ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資	- 一般大衆 - 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	2022年6-12月 (完了)	73億円

表-2 資金充当先変更後のソーシャルプロジェクト(詳細はスケジュール-1 を参照してください)

ソーシャルプロジェクト分類	ソーシャルプロジェクト		充当時期	充当額
	ソーシャルプロジェクト概要	対象者		
必要不可欠なサービスへのアクセス(健康・健康管理)	プラズマ乳酸菌の研究開発及びプラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資	- 一般大衆 - 高齢者 - 虚弱な若者	2025年2月 (完了)	55億円
■ 必要不可欠なサービスへのアクセス(健康・健康管理) ■ 食料の安全保障と持続可能な食料システム(食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス、食生活改善・未病対策)	Blackmores Limitedの株式取得	- 一般大衆 - 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	2025年2月 (完了)	18億円
合計				73億円

- 資金充当先変更後のソーシャルプロジェクトの概要については、以下の通りです。

資金充当先変更後のソーシャルプロジェクト概要

プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資：充当総額 55 億円

- 本プロジェクトは 2022 年 3 月公表の「キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク」における適格クライテリアを満たしたソーシャルプロジェクトです。
 - 本プロジェクトについては、具体的には以下 2 つのプロジェクトへ充当されています。
- ① iMUSE ヘルスサイエンスファクトリー(設備投資)：充当額 28 億円 (図-1 参照)



図-1 iMUSE ヘルスサイエンスファクトリー外観

- ② キリンビバレッジ湘南工場(小型ペットボトル製造設備)：充当額 27 億円

- ・ 超小型 PET ラインの設備投資額のうち、2024 年度製造実績値より算出した、プラズマ乳酸菌関連商品製造に資する割合を按分した額を充当額として設定しています。



図-2 キリンビバレッジ湘南工場外観

Blackmores Limited の株式取得：充当額 18 億円

- 本プロジェクトは 2025 年 2 月公表の「キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワーク」における適格クライテリアを満たしたソーシャルプロジェクトです。
- Blackmores は、オーストラリア及び中国・東南アジアにおいて主に健康食品を扱う代表企業で、APAC(アジア太平洋)地域を網羅する販売チャネルを活かし、人々の健康課題の解決につながる商品を展開しています。
- 資金使途対象は Blackmores の株式取得額(買収額)のうち、SBP、SBGL に適合する事業セグメントや商品売上高の割合を按分等した額をソーシャルボンドの充当可能額(評価額)として試算・設定し、その一部にソーシャルボンド調達資金全額を充当しています。

 成長機会の拡大	● Blackmores社の販売チャネルとケイパビリティの活用によりスペシャリティ素材の展開加速が可能 例 ☒ プラズマ乳酸菌の免疫サプリへの導出 ☒ シチコリンのドリンクサプリへの導出  
 成長機会の拡大	● 当社技術の活用により新たな商品開発が可能 例 ☒ 新たな商品形態の開発・展開 ☒ 容器包装の更なる環境対応 <u>etc</u> ● FANCLとの商品共同開発が可能
 組織能力の向上	● ヘルスサイエンス事業の組織能力向上が可能 例 ☒ 人材交流（両社の従業員にとって活躍できるフィールドが拡大） ☒ ナレッジシェアリング（R&Dやマーケティング） <u>etc</u>

図-3 Blackmores 買収におけるシナジー

UoP-2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

- DNV は、レビューを通じてキリンホールディングスが、同社が策定したフレームワークにおける適格クライテリアを満たすソーシャルプロジェクトを資金使途充当先変更後のプロジェクトに選定していることを確認しました。

UoP-3. 調達資金の管理

- DNV は、中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額(73 億円)の資金充当先プロジェクトについて、どのように資金を追跡管理したか確認しました。
- キリンホールディングスは、下表のとおり 3 つのプロジェクトに「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額の全額を再充当し、未充当は生じていないことを確認しました。

No.	ソーシャルプロジェクト		充当時期(実績)	充当額
1	プラズマ乳酸菌原料粉末 の製造に資する設備投 資	iMUSE ヘルスサイエンスファクトリー	2025 年 2 月 (完了)	28 億円 (リファイナンス割合 100%)
2		キリンビバレッジ湘南工場(小型ペットボトル 製造設備)	2025 年 2 月 (完了)	27 億円 (リファイナンス割合 100%)
3	Blackmores Limited の株式取得		2025 年 2 月 (完了)	18 億円 (リファイナンス割合 100%)
合計				73 億円 (リファイナンス割合 100%)

UoP-4. レポーティング

- DNV は、キリンホールディングスが「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額の全額が、上述のソーシャルプロジェクトへ充当済みであり、未充当金が発生していないこと、及び、調達された資金が償還されるまでの間、ソーシャルプロジェクトによってもたらされる社会的便益に関する特定の情報を年次でウェブサイト上に公表されることを確認しました。なお、調達資金は全額充当完了していますが、今後充当したソーシャルプロジェクトの実行状況等に大きな変更が生じる等の重大な事象が生じた場合は、本件と同様に適時に開示する予定です。主要な報告項目は以下を予定しています。

<資金充当状況>

- 充当対象となるソーシャルプロジェクト及び充当金額：
 - プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発(55 億円)
 - Blackmores の株式取得(18 億円)
- 未充当金の残高及び運用方法：未充当金残高なし

<社会的便益>

- プラズマ乳酸菌製造：製品の継続使用者数 74.5 万人
(算定方法：販売量÷1 日当たり摂取量÷使用期間 12 カ月)
- Blackmores の株式取得：Blackmores が取り扱う製品へのアクセス向上
 - グローバルでの Blackmores ブランドに対する顧客認知度 606 百万人に増加
 - キリンが保有するスペシャリティ素材のグローバル展開に向けて Blackmores との取り組みが進展

DNV が評価した、ソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」の中止に伴う資金使途変更後のソーシャルボンド適格性評価の結果(「DNV の意見」の章で記載される内容)に基づいて、この債券が上述の適用される基準の要素に対して、準拠していないと信じさせる事項はすべての重要な点において認められませんでした。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

神戸、日本 2026 年 8 月 31 日



金留 正人

テクニカルレビューアー

DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



塚崎 旭

プロジェクトマネージャ

DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight.

With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 15,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

スケジュール 1：キリン・ソーシャルボンドプロジェクトリスト

中止されたソーシャルプロジェクト

ソーシャルプロジェクト分類		ソーシャルプロジェクト			SDGs への貢献	充当時期	充当額
事業区分	事業区分の細目	ソーシャルプロジェクト概要	対象者	社会的便益			
必要不可欠なサービスへのアクセス	健康管理	ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資・運営・原材料の調達	- 一般大衆	ヒトミルクオリゴ糖配合製品を提供し、幅広い地域・年齢層のお客様の健康増進に貢献	  	2022 年 6-12 月 (完了)	73 億円 (リファイナンス割合 86.8%)
プロジェクト中止理由	2024 年 11 月に中国の大手バイオ産業会社である Meihua Holdings Group Co., Ltd.の子会社である特定目的会社に事業譲渡						

資金充当先変更後ソーシャルプロジェクト

ソーシャルプロジェクト分類		ソーシャルプロジェクト				SDGs へ	充当時期	充当額
事業区分	事業区分の細目	ソーシャルプロジェクト概要		対象者	社会的便益	の貢献		
■ 必要不可欠なサービスへのアクセス	健康、健康管理	プラズマ乳酸菌の研究開発及びプラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資	iMUSE ヘルスケアサイエンスファクトリー	- 一般大衆 - 高齢者 - 虚弱な若者	プラズマ乳酸菌配合製品を提供し、お客様の免疫機能維持に貢献	 	2025 年 2 月 (完了)	28 億円 (リファイナンス割合 100%)
			キリンビバレッジキリンビバレッジ湘南工場(小型ペットボトル製造設備)					27 億円 (リファイナンス割合 100%)
■ 必要不可欠なサービスへのアクセス ■ 食料の安全保障と持続可能な食料システム	健康、健康管理 - 食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス - 食生活改善・未病対策	Blackmores の株式取得		- 一般大衆 - 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献	  		18 億円 (リファイナンス割合 100%)
合計								73 億円 (リファイナンス割合 100%)

スケジュール 2：ソーシャルボンド適格性評価手順

下記 SBP-1 ～ SBP-4 は、ソーシャルボンド原則(SBP)を基に、キリンホールディングスソーシャルボンド適格性評価用に作成された DNV 評価手順です。

UoP-1 調達資金の使途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1a	資金の種類	ソーシャルボンドの種類は SBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)ソーシャルボンド ・ソーシャルレベニューボンド ・ソーシャルプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	DNVは、評価作業を通じキリンホールディングスのソーシャルボンドが以下のカテゴリに分類されることを確認した。 ・(標準的) ソーシャルボンド
1b	ソーシャルプロジェクト分類	ソーシャルボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がソーシャルプロジェクトのために使われることであり、そのことは、ソーシャルボンド発行に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	DNV は中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額の全額が、以下のプロジェクトに充当されたことを確認した。 「必要不可欠なサービスへのアクセス(健康、健康管理)」 「食料の安全保障と持続可能な食料システム(食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス、食生活改善・未病対策)」
1c	社会面での便益	調達資金使途先となる全てのソーシャルプロジェクトは明確な社会面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	DNV は、ソーシャルプロジェクトが、キリンホールディングスによって客観的な社会課題であること、地域性の考慮、プロジェクト実行による受益者及び社会貢献(成果)が明確にされていることを確認した。 具体的には、プラズマ乳酸菌製造はお客様の免疫機能の維持の貢献に、Blackmores 買収により、同社が取り扱う商品へのアクセス向上等により、「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題解決への貢献が期待できることを確認した。

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額が、ソーシャルプロジェクトにリファイナンスとして全額充当されたことを確認した。

UoP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	ソーシャルボンドの発行体はソーシャルボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない) - 発行体が、対象となるプロジェクトが適格なグリーンプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス - ソーシャルボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性についての規準作成 - 社会面での持続可能性に係る目標	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	キリンホールディングスが、財務担当部門及び CSV 担当部門がフレームワークで定めた適格クライテリアを満たすプロジェクト(適格プロジェクト)として選定し、財務担当部門の執行役員より権限移譲された財務担当部門の部長が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認した。また、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認した。
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	ソーシャルボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、ソーシャルボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	キリンホールディングスのソーシャルプロジェクトは、キリンホールディングスの「CSVパーパス」や「長期経営構想 キリングroup・ビジョン 2027(KV2027)」と一致しており、プロジェクトの実行に際しては、環境関連法令、条例、諸規則及び当該地域との協定の遵守、周辺環境への配慮などが考慮されていること、適格プロジェクト固有のリスクについては、各種デューデリジェンスによるリスク項目の抽出を行い、適切な対応・手続きを実施していることを確認した。また、ソーシャルプロジェクトによる社会的便益が明確になっていることを、フレームワーク等の文書確認や関係者へのインタビューを通じて確認した。

UoP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	ソーシャルボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、ソーシャルプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -資金管理情報 関係者へのインタビュー	DNVは文書レビューとインタビューにより、中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額の全額が、ただちにスケジュール-1に示すソーシャルプロジェクトに充当されたことを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	ソーシャルボンドの償還期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -資金管理情報 関係者へのインタビュー	DNVは、キリンホールディングスがソーシャルボンドの資金充当先変更の実行から充当完了まで、調達資金の充当状況が管理されたことを確認した。
3c	一時的な運用方法	適格性のあるソーシャルプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -資金管理情報 関係者へのインタビュー	DNVは、中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額の全額が、資金充当先変更の実行後ただちに全額充当され、未充当資金は発生していないことを確認した。

UoP-4 レポーティング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	調達資金の使途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はソーシャルボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。 -守秘義務や競争上の配慮 -各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -年次レポーティング 関係者へのインタビュー	DNVは、キリンホールディングスが、ソーシャルボンドで調達した資金が充当されたソーシャルプロジェクトの実行状況等に大きな変更が生じる等の重大な事象が生じた際に、同社ウェブサイト上で適時開示されていることを確認した。具体的には、ソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」が事業譲渡譲渡に伴い中止された経緯および、本プロジェクトに充当された金額相当額をスケジュール-1に示すソーシャルプロジェクトへ資金充当先を変更することを2025年2月14日に同社ウェブサイトにて公表していることを確認した。 また、DNVは、キリンホールディングスが中止されたソーシャルプロジェクト「ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資」に充当された金額相当額がスケジュール-1に示すソーシャルプロジェクトに全額充当済みであり、未充当額は発生していないことをウェブサイト上に公表済みであることを確認した。また、今後充当した適格プロジェクトの実行状況等に大きな変更が生じる等の重要な事業が生じた場合は、本件と同様に適時に開示する予定であることも確認した。 DNVは、キリンホールディングスが、レポーティングについては以下を開示していることを確認した。 (資金充当状況) - 充当対象となるソーシャルプロジェクト及び充当金額： プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資(55億円) Blackmoresの株式取得(18億円) - 未充当金の残高及び運用方法：未充当金残高なし (社会的便益) - プラズマ乳酸菌製造：製品の継続使用者数74.5万人 (算定方法：販売量÷1日当たり摂取量÷使用期間12カ月) - Blackmoresの株式取得：Blackmoresが取り扱う製品へのアクセス向上

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
				- グローバルでの Blackmores ブランドに対する顧客認知度 606 百万人に増加 - キリンが保有するスペシャルティ素材のグローバル展開に向けて Blackmores との取り組みが進展

原則やガイドラインで定義される外部レビューの役割

- 1. セカンド・パーティ・オピニオン：**発行体とは独立した環境面での専門性を有する機関がセカンド・パーティ・オピニオンを発行することができる。その機関は発行体のソーシャルボンド・フレームワークにかかるアドバイザーとは独立しているべきであり、さもないとセカンド・パーティ・オピニオンの独立性を確保するために情報隔壁のような適切な手続きがその機関のなかで実施されるものとする。セカンド・パーティ・オピニオンは通常、SBP との適合性の査定を伴う。特に、発行体の包括的な目的、戦略、環境面での持続可能性に関連する理念及び／又はプロセス、かつ資金使途として予定されるプロジェクトの環境面での特徴に対する評価を含み得る。
- 2. 検証：**発行体は、典型的にはビジネスプロセス及び／又は環境基準に関連する一定のクライテリアに照らした独立した検証を取得することができる。検証は、発行体が作成した内部又は外部基準や要求との適合性に焦点を当てることができる。原資産の環境面での持続可能性に係る特徴についての評価を検証と称し、外部クライテリアを参照することもできる。発行体の資金使途の内部的な追跡手法、ソーシャルボンドによる調達資金の配分、環境面での影響評価に関する言及又はレポーティングのSBP との適合性の保証もしくは証明を検証と称することもできる。
- 3. 認証：**発行体は、ソーシャルボンドやそれに関連するソーシャルボンド・フレームワーク、又は調達資金の使途について、一般的に認知された外部のグリーン基準もしくは分類表示への適合性に係る認証を受けることができる。基準もしくは分類表示は特定のクライテリアを定義したもので、この基準に適合しているかは通常、認証クライテリアとの適合性を検証する資格を有し、認定された第三者機関が確認する。
- 4. ソーシャルボンドスコアリング／格付け：**発行体は、ソーシャルボンドやそれに関連するソーシャルボンド・フレームワーク又は資金使途のような鍵となる要素について、専門的な調査機関や格付機関などの資格を有する第三者機関の、確立されたスコアリング／格付手法を拠り所とする評価又は査定を受けることができる。そのアウトプットは環境面での実績データ、SBP に関連するプロセス又は 2℃気候変動シナリオなどの他のベンチマークに着目する場合がある。ソーシャルボンドスコアリング／格付けは、たとえ重要な環境面でのリスクを反映していたとしても、信用格付けとは全くの別物である。



WHEN TRUST MATTERS

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight. With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener group. All rights reserved.